

第8代地本長 宮本1佐着任

着任本部長の紹介

主要補職	
19年12月	第3対戦車ヘリコプター隊長 (目達原)
22年 8月	特別輸送ヘリコプター隊長 (木更津)
25年 4月	西部方面航空隊副隊長 (高道原)
27年 8月	研究本部総合センター長 (朝霞)
27年12月	武山駐屯地業務隊長



氏名 みやもと よしひろ
宮本 善弘
出身地 大阪府
学歴 防衛大学校30期

平成30年8月1日(水)付をもって、第8代佐賀地方協力本部長に宮本1佐が着任し、同日、地本本部において、着任行事を行いました。本着任行事においては、立会官の西部方面総監部人事部長による着任本部長の紹介に続いて、宮本本部長が、整列した本部員に対し、「わくわくする気持ちをもって、楽しく仕事をする」とを目標に、人にやられるのではなく「各人がアイデアを出して実行しよう」、そして、「一人一人が持ち味を活かそう」と要望しました。

佐賀地本 ニュース

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

第11号 平成30年8月8日発行

発行所
自衛隊佐賀地方協力本部
募集課広報室
電話 0952-24-2291

前地本長の大家塚1佐は、武山駐屯地業務隊長(神奈川県横須賀市)に異動しました。



本部員に訓示を行う宮本本部長

佐賀地本は、佐賀県の方々と防衛省・自衛隊の架け橋として、県をはじめとする各自治体と県内所在部隊との連携を確保するとともに、県民の方々へ隊員の募集・退職予定隊員の就職援助及び広報活動、そして災害発生時の対応を全力で行って参りますので、今後支障を受けず、河川に橋を架設するために使用する「92式浮橋」の装備品展示を行いました。

唐津港まつりで自衛隊をPR

佐賀地本は、7月15日(日)、唐津東港において行われた「海のカーニバルinからつ」において、広報活動を行いました。今回のイベントでは、陸上自衛隊小郡駐屯地からの支援を受けて、河川に橋を架設するために使用する「92式浮橋」の装備品展示を行いました。



「92式浮橋」の説明を聞く来場者

唐津港まつりでは、来場者の姿が目立ちました。広報ブースにおいては、災害派遣活動状況のパネル展示、ミニ制服の試着及び記念撮影や海上自衛隊佐世保地方総監部による「南極の氷」の展示が行われ、多くの皆様方に立ち寄り頂きました。



ミニ制服を試着して記念撮影する親子

高等学校校長に自衛隊への理解を深めて頂く

佐賀地本は、7月3日(火)、地本本部において高等学校校長に対する自衛官等募集制度説明会を行いました。当日は、高等学校校長等19名のご参加を得て、防衛講話、自衛官等募集制度の説明、装備品の展示説明の後、会食及び懇談を行って頂きました。



自衛官等募集制度の説明

また、装備品の展示説明については、背中に背負うバッグ(背のう)の重量を体感して頂き、自衛官の精強さの一端を感じて頂いたようでした。会食の際には、和やかな雰囲気の中で懇談を行い、色々な意見を頂くことができました。



装備品(背のう)の説明

音楽演奏会で自衛隊をPR

佐賀地本は、7月28日(土)、上峰町民センターで行われた第4師団主催の巡回演奏会in佐賀において、広報活動を行いました。演奏会は、上峰町長を始めとするご来賓の参加を得て盛大に行われ、第一部では、陸自第4音楽隊(春日市)の演奏により佐賀にちなみ「伸び行く佐賀」を披露したほか、第二部では、コンクール曲「虹色の未来」



神埼高校吹奏楽部との合同演奏

「南極の氷」の展示や自衛官等募集制度の説明を行い、多くの来場者の方に立ち寄り頂きました。佐賀地本は、今後も各種行事を通じて、広報活動を行って参ります。



「南極の氷」を興味深く見つめる子ども

予備自衛官補としての使命を胸に

佐賀地本は、7月1日(日)、地本本部において予備自衛官補に採用となつた2名の方に辞令書を交付しました。予備自衛官補とは、一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」として公募・採用し、教育訓練終了後に「予備自衛官」として任用する制度です。



力強く宣誓を行う予備自衛官補採用者

募の区分により採用されました。辞令書交付に引き続き、申告・宣誓・使命教育が行われ、参加者からは、「早く教育訓練を終了して予備自衛官となり、活躍したい。」との力強い言葉を頂きました。佐賀地本は、民間の優れた専門技能を有効に活用するため、今後も積極的に予備自衛官補の募集・採用業務に取り組みで参ります。



辞令書を手に記念撮影

援護業務に邁進

今年の4月に陸上幕僚監部(市ヶ谷)から援護課長に着任しました下田事務官です。

援護課では、退職自衛官(定年制・任期制)の就職援助業務、予備自衛官等に関する業務、殉職隊員の遺族援護に関する業務等を行っております。

退職自衛官の就職援助につきましては、県内企業への再就職を通じて、地域社会の発展に貢献することを目的として、自衛隊において身につけた技術・技能や協調性を持った多くの人材を活用して頂けるように企業の皆様を始め、関係機関及び佐賀県自衛隊退職者雇用協議会との連携を深めて参ります。

また、いざという時の予備の防衛力としての制度である予備自衛官等の業務につきましても、即応予備自衛官を主体とした部隊(コア部隊)の新編が予定されている等、自衛隊における予備自衛官等の重要性はますます高まっており、更なる予備自衛官等の充足確保に向け、努力して参る所存であります。

佐賀地本が行う援護に関する活動に對しまして、ご理解を頂いておりますこと、誠に厚くお礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



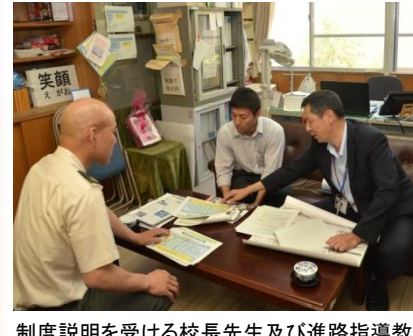
援護課長 防衛事務官 下田 悟

熱か風

唐津 馬渡(まだら)島で募集広報

唐津出張所は、5月24日(木)、唐津市北西部の鎮西町沖にある馬渡(まだら)島において、同島に所在する小中学校の校長先生及び進路指導教諭に自衛官等の募集制度説明を行いました。

馬渡島は、東松浦半島最北端の波戸岬から西へ約9kmの玄界灘に浮かぶ、人口約300名の佐賀県最西端に位置する島で、日本で



制度説明を受ける校長先生及び進路指導教諭



馬渡小中学校

初めて馬が渡って来たという伝承があります。

馬渡小中学校には、小学生22名、中学生11名が在籍しており、校長先生及び進路指導教諭には、募集制度の説明を熱心に聞いて頂き、感激を胸に島を後にしました。

唐津出張所は、今後も離島を含めた各地で、積極的に募集広報活動を行って参ります。

鳥栖 高校生が自衛隊の職場を体験

鳥栖地域事務所は、7月4日(水)から7月6日(金)の間、担当の高校(鳥栖商業、鳥栖工業、神埼清明)3校13名の職場体験学習に同行しました。

生徒たちは、陸海空各自衛隊の駐屯地等において、自衛隊の概要説明を受けた後、陸自目達原駐屯地では緊急蘇生法の体験、海自大村航空基地では、航空機や管制塔の見学、空自高良台分屯基地では、通信器材の操作等を体験しました。

特に高良台分屯基地司令



ヘリコプターを見学(海自大村航空基地)



「勇気」についての司令講話(空自高良台分屯基地)

鳥栖地域事務所は、今後も職場体験等の場を有効に活用して、生徒に自衛隊を身近な存在としてアピールして参ります。

参加した学生からは、「普段聞けない自衛隊のことを教えてもらって、自衛隊に興味を持ちました。」等のうれしい感想もありました。

「勇気」を持つためには、日常の誠実な態度が大切」との講話内容は、学生の心に伝わっていたようでした。

武雄 母校で自衛隊をPR

武雄地域事務所は、7月13日(金)、白石高等学校において、募集制度説明会を行いました。

本説明会に参加した生徒は、真剣な眼差しで、所長による募集制度の説明に聞き入っていました。

その後、同校を2年前に卒業した井手士長(陸自第3高射特科群(飯塚)勤務)による体験談を交えた説明を行いました。

説明を受けた生徒からは、



所長による自衛官等募集制度の説明



説明に同行した井手士長(写真左)

「卒業生の貴重な体験談を聞いて良かった。」との感想を頂くとともに自衛隊での生活に関する質問が多くありました。

対応した広報官は、質問への回答を含めて自衛隊の任務をしっかりと説明しました。

武雄地域事務所は、今後も募集説明会を通じて、募集及び広報活動を行って参ります。

佐賀募集案内所は、6月29日(金)、6月30日(土)、7月1日(日)にそれぞれ国分駐屯地、福岡駐屯地、久留米駐屯地において行われた一般曹候補生及び自衛官候補生の修了式に同行しました。

教育修了の日を迎えた候補生からは、「入隊当初は戸惑いや不安もありましたが、同期と助け合い、励まし合い、そして競いあつて知識や技能、体力及び気力を

佐賀募集案内所は、自衛官として歩み始めた新隊員とご家族を、これからも全力で応援して参ります。

を身につけて、この日を迎えることができました。」との話を聞き、成長を頼もしく感じました。

祝賀会食に参加された親御さんは、逞しく、明るく元気に成長した我が子を前に「自衛隊に入隊させて良かったです。」と喜んでおられました。

佐賀 自衛官として歩み始めた新隊員を応援



一般曹候補生修了式(久留米)



頼もしく成長した我が子との再会を喜ぶ川原様親子(福岡駐屯地)

採用案内

募集種目	応募資格(学歴・年齢)	受付期間	試験日
自衛官候補生	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	7月1日～9月7日	1次試験：9月21日～23日 2次試験：10月12日～17日 ※いずれか1日が指定されます。
予備自衛官補(一般)	18歳以上34歳未満の者	7月1日～9月14日	9月29日～10月2日 ※いずれか1日を指定されます。
防衛大学校学生	推薦	9月5日～9月7日	9月22・23日
	総合選抜	9月5日～9月28日	1次試験：9月22日 2次試験：10月27・28日
	一般	9月5日～9月28日	1次試験：11月3・4日 2次試験：12月11～15日
防衛医科大学校医学科学生	18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込)又は高専3年次修了者(見込)	9月5日～9月28日	1次試験：10月27・28日 2次試験：12月12～14日
防衛医科大学校看護学科学生 (自衛官候補看護学生)	18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込)又は高専3年次修了者(見込)	9月5日～9月28日	1次試験：10月20日 2次試験：12月1・2日
陸上自衛隊 高等工科大学生徒	推薦	11月1日～11月30日	31年1月5日～7日 ※いずれか1日を指定されます。
	一般	11月1日～31年1月7日	1次試験：31年1月19日 2次試験：31年2月1日～4日

平和を守り、未来を創る

陸・海・空自衛官候補生募集

入隊と同時に「自衛官候補生」に任命され、3か月後に2等陸・海・空士(任期制自衛官)に任用されます。■2等陸・海・空士任用後は、陸上自衛隊は1年9か月、海上・航空自衛隊は2年9か月の任期制コースとなります。

自衛隊はあなたの能力を必ず活かせる場所

母 семействаで、母の苦勞を見て育つたため「大切な人を守る強い人間になりたい」と強く思うようになりました。責任力や精神力も身につく自衛隊が適職だと思入隊しました。現在私は所属している管理小隊で衣・食・住の支援や管理を行い、隊員の任務のサポートも行っています。自衛隊の職種は多岐にわたるため、あなたが揮く職種が必ずあります。国や国民のためにできることをしたい人は是非自衛隊へ来てください。

さまざまな国家資格取得のチャンスがある

自衛隊が災害派遣で活躍する姿をテレビや新聞で見て、「自分も人のためになる仕事したい」と思い入隊を決意しました。任期制自衛官は入隊に応じて任期満了退職金を受け取れます。さらに、さまざまな国家資格を取る機会があるのも魅力です。現在は、電波や通信のやり取りを通して日本の領空を守るのが主な任務です。常に「自分たちがいなければ日本の空は守れない」という責任感を持って取り組んでいます。

一番のやりがいみんなが喜んでくれること

私は進路に悩んでいた頃、自衛隊の説明会に参加したのがきっかけで入隊しました。任期制の魅力は、新たな進路を目指すなど、さまざまな選択が可能な所だと思います。現在は給養班に所属し、隊員の生命の源である食事を作っています。喜びを感じるのは、食べた人からおいしいと言ってもらえる瞬間。おいしい物を食べると不思議と笑顔になります。そんな笑顔であふれる食堂を目指して頑張っています。

照井 真美 (第6師団司令部付隊 管理小隊 1等隊士)

水上 澁太 (中部航空警戒管制団 中部航空警戒管制 警備隊員候補生 1等空士)

川田 愛 (館山航空基地隊 厚生隊 給養班 海士長)

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。最寄りの地域事務所等へお問い合わせ下さい。

事務所等	住所	電話番号
本部	〒840-0047 佐賀市与賀町2-18	0952-24-2291
唐津出張所	〒847-0085 唐津市和多田本村1-7	0955-72-8697
武雄地域事務所	〒843-0023 武雄市武雄町大字昭和43-15	0954-23-8304
鳥栖地域事務所	〒841-0037 鳥栖市本町1-962-1	0942-83-4077
佐賀募集案内所	〒840-0801 佐賀市駅前中央1丁目13-40	0952-31-5002